

ユニットだより

「おやつバイキング」

九月の行事では、利用者様からの日頃のリクエストにお応えし、「おやつバイキング」を開催しました。

M様が以前から「ピザが食べたいな」と言われていたことを受けて、ピザをご用意することはすぐさま決定。他、昔ながらの駄菓子や醤油せんべい、卵ボーロ、チョコなどをご用意してみました。

当日は、長テーブルにそれぞれを並べ、利用者様にはお皿を持っていただき、好きな物を選んで頂きました。もちろんM様は真っ先にピザを手に取り、大満足の表情。さて、皆様は何を選んだかという・・・人気



第一位は醤油せんべいでした。「入れ歯、入れなきや！」と気合を入れてせんべいに噛り付き、「やつぱり美味しいね」と笑顔がこぼれます。

そんな利用者様の顔を見て私達職員もほっこりと嬉しくなります。

このように、利用者様からの意見を取り入れ、自由に「選べる環境」にしていくために、これからも色々な提案をしていきたいと思えます。

(Aユニット・ショートステイ I)

「長寿を祝賀」

E・Fユニットでは敬老の日の際し、入居者様のご長寿を皆でお祝いすると共に、特別に用意したお菓子を楽しんで頂き、ささやかながらプレゼントを贈らせてもらいました。

また、九十歳以上の方には長寿のお祝いをメッセージカードに込めてお渡ししました。

あらかじめ入居者様から、お好きなお茶菓子等を伺ったうえでお出しす



ると「うれしい！これ食べたかった！」「おいしいね」「普段も食べたいわ」など様々な声が出て大変満足された様子でした。

この日はご家族の方もお孫さんの写真を持ってこられたり、中には食事を共にする方もいて、ユニット内は普段とは違う賑やかなムードに包まれておりました。

(E・Fユニット H)

「お祝いケーキ」

Dユニットでは、九月十九日敬老の日をお祝いして「敬老会」を行いました。

当日は利用者お一人お一人のご長寿と益々お元気な過ごされますようにと、職員からお祝いのことばと共に真心のプレゼントをお渡ししました。

眼鏡ケースやバスタオル、写真立てなどのプレ



ゼントは、日頃利用者様が必要とされていたものを見立てたもので大変喜んで頂きました。

そして何より喜んでくださったのはショートケーキであり、楽しそうにおしゃべりしながらケーキを召し上がっている様子を見ながら、あらためて皆様のご長寿を影ながら願いました。

(Dユニット K)

「地域交流作品展」

現在開催中(十月二十日まで)なのは、新高尾公民館で学ぶ「はがき絵の会」(中村志津子会長)の皆様による作品展です。地域の皆様、是非足をお運び下さい！



すこやか生活日誌

皆さんにとって秋は何の秋ですか？スポーツの秋という言葉もありますが、涼しくなって運動しやすい時期になりましたね。健康的な体づくりのために運動も大切です。運動習慣を取り入れるのはなかなか難しいという人もいるのではないのでしょうか。

私たちが安静にしているとき以外の活動のすべてを「身体活動」といいます。これはスポーツなどの「運動」と日常生活における労働、家事、通勤などの「生活活動」に分類されます。掃除をしたり、買い物に出る歩いたり、この生活活動量を増やすことも健康のために推進されています。

運動に限らず、まずはからだを動かす機会を増やすことから始めるのも良いかもしれませんね。

(管理栄養士)



編集後記

1901年以降、113名がノーベル文学賞を授与されています。ちょっと調べてみたところ、アルフレッド・ノーベルは新しい視野を持った文学に与える賞としているそうです。今回はボブ・ディランが受賞しました。受賞理由は偉大なるアメリカ音楽の伝統の中で新しい詩的表現を生み出した功績によるとしています。古いがゆえに新しいと言ったところでしょうか。

私が知っている限りのボブ・ディランは、若い時の、かなりのイケメンでロックの殿堂入り。知っている曲は天国の扉(ノックン オン ヘヴンズドア)。ガンズやクラプトンがこの曲をカバーしていたので知っています。稀代の詩人の授賞決定コメントをちょっと期待しましたが、ノーコメントでした。それがきっとカッコいいと思います。

(管理者)